

本のとびら Ver.3

～おすすめの本 中学生編～

中学生みなさんにおすすめしたい、
とっておきの本を集めました。
さあ、「とびら」を開けて、本の世界
へGo!



まなの本棚

(芦田愛菜 著/小学館)

年間100冊以上も本を読む俳優・芦田愛菜が、これまでに夢中になった本を紹介。「本が好き」という想いが伝わる一冊。

JK、インドで常識ぶっ壊される

(熊谷はるか 著/河出書房新社)

海外でのキラキラJKライフを夢見る「わたし」が住むことになったのは、まさかのインド！猿にクジャクにターバンおじさん。常識をぶっ壊されたその先で、「わたし」が見たものは…？



なぜ僕らは働くのか

君が幸せになるために考えてほしい大切なこと

(池上彰 監修, 佳奈 漫画, モドロカ 画/学研プラス)
ハヤトと一緒に「働く」ことの意味を考えよう。やりたい仕事の見つけ方、AIと仕事など、大事なテーマを取り上げる。

親の期待に応えなくていい

(鴻上尚史 著/小学館)

「あなたの人生はあなたが決めるのです」
何が幸せかを決めるのは、親ではなくあなた自身。自分らしく生きていいというメッセージにはっとさせられる。親子で読んでほしい。



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

The Real British Secondary School Days
(プレイティみかこ 著/新潮社)

ぼくが通うイギリスの「元底辺中学校」には人種差別やジェンダー問題などの悩みがいっぱい。でも、母ちゃんとふたりで笑い、考え、乗り越えていく！

さばの缶づめ、宇宙へいく

鯖街道を宇宙へつなげた高校生たち

(小坂康之, 林公代 著/イースト・プレス)

「宇宙食、作れるんちゃう？」
何気ない一言から始まったプロジェクト。それは、小浜水産高校の生徒と教師、地域の人の想いをつないでいく。



紙つなげ！彼らが本の紙を造っている

再生・日本製紙石巻工場

(佐々涼子 著/早川書房)

3.11 東日本大震災。石巻の製紙工場も津波で壊滅的な被害を受けていた。地元の人びとや本を待つ読者のためにと、従業員たちは奮闘する！感動のノンフィクション。

君たちに贈る

明日への勇気が湧いてくる広告コピー

(パイインターナショナル)

広告コピーには、心にグッとくる名言があふれている。迷ったとき、悩んだときに勇気をあたえてくれる言葉がきっと見つかる。



私たちの負けられない想い。

新・吹部ノート

全日本吹奏楽コンクールにかけた青春!

(オザワ部長 著/ベストセラーズ)

全日本吹奏楽コンクールに青春をかける高校生たちが、厳しい練習の中でノートに綴った想い。小松市立高校が収録されている。

あの夏の正解

(早見和真 著/新潮社)

2020年。新型コロナウイルスの流行に高校球児たちも翻弄されていた。あの夏、夢を奪われた選手、そして監督の思いとは…。星稜高校(石川)と済美高校(愛媛)の野球部に密着して書かれたノンフィクション。



なんでもない一日の辞典

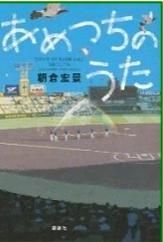
(山口麗司 著, 水元さきの [イラスト] / WAVE 出版)

日々、過ごす時間の出来事や感情を言葉に変換してみると、なんでもない日常が愛おしいものに見えてくる。読んでいくうちに、表現の幅も広がる一冊。

あめつちのうた

(朝倉宏景 著/講談社)

運動が苦手な兩宮大地は、甲子園球場の整備を請け負う阪神園芸へと入社する。だが、仕事は失敗続き。仲間とぶつかり、励まされながら土と向きあううちに、大地は少しずつ成長していく。



ヨンケイ!!

(天沢夏月 著/ポプラ社)

人数不足に悩む離島の陸上部に、奇跡的に男子4人のスプリンターがそろった。インターハイを控え、4×100mリレー(四継)に挑むことになるが、メンバーの人間関係は最悪で…。

逆ソクラテス

(伊坂幸太郎 著/集英社)

「僕はそうは思わない」
敵は先入観。思い込みを捨てた時に逆転劇は生まれる。シリアスな場面にもユーモアあふれる会話が楽しい。印象的なフレーズも多い、爽快な短編集。



獣の奏者.1 闘蛇編

(上橋菜穂子 著/講談社)

母の死をきっかけに追われる身となったエリンは、獣ノ医術師への道を歩み始める。自らの運命を自らの力で切り拓くエリンの一生を、壮大な世界観で描くファンタジー。全4巻+外伝。



水を縫う

(寺地はるな 著/集英社)

刺繍(ししゅう)が好きな高一男子の清澄とその家族は、それぞれに「らしさ」を求められ息苦しさを抱えて生きていた。世の中の「普通」ってなに?自分らしく生きることを忘れてくれないあなたへ。

絵物語古事記

(富安陽子 文, 山村浩二 絵, 三浦佑之 監修/偕成社)

「この国のはじまりのことをしりたいというのかな?」
日本最古の歴史書『古事記』。「天(あまの)岩屋(いわの)と」、「稲羽(いなば)の白うさぎ」など、古き神々の物語に触れてみて。



夜に星を放つ

(窪美澄 著/文藝春秋)

恋人、家族など大切な人間関係を失い傷ついた人たちは、それでもまた人と関わりたいと願う…。星のようにゆらめく心の動きを描く、少し切ない短編集。全5編。

アドリブ

(佐藤まどか 著/あすなろ書房)

イタリアの小さな町に暮らすユージは、フルートと出会い、魅了される。才能を認められ国立音楽院に入学するが、音楽の世界の厳しさを知り…。ユージの決断とは。



行為の意味

青春前期の君たちへ贈る心の詩

(宮澤章二 著/ごま書房新社)

「確かに<こころ>はだれにも見えないけれど<こころづかい>は見えるのだ」
どの詩も心に刻んでおきたい。

14歳、明日の時間割

(鈴木りか 著/小学館)

学生生活や家庭での出来事を「国語」「家庭科」など時間割に見立てて、ユーモラスかつ温かく描いた短編集。執筆当時、作者は中学生だったそう。



サンタのおばさん

(東野圭吾 作, 杉田比呂美 画/文藝春秋)

「なぜサンタクロースは男性だと決めてかかるのかね」
新たに加わるようになった女性サンタを認めるかどうかで、恒例のサンタクロース会議は大騒ぎに!ロングセラーの一冊。

ワタシゴト 14歳のひろしま

(中澤晶子 作, ささめやゆき え/汐文社)

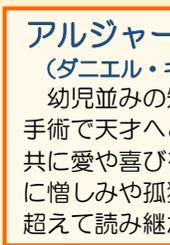
修学旅行で広島を訪れた中学生たち。被爆資料などを通して平和について考え、14歳の自分が抱える「いま」と向き合っていく。



そして、バトンは渡された

(瀬尾まいこ 著/文藝春秋)

森宮優子は17歳にして4回も名字が変わっている。血の繋がらない他人の間を養子としてリレーされたからだ。けれど優子は、いつでもそのときの親を愛し、そして愛されてきた…。涙が止まらない感動作。



アルジャーノンに花束を

(ダニエル・キイス 著, 小尾英佐 訳/早川書房)

幼児並みの知能しかないチャーリーは、大手術で天才へと変貌をとげた。知識、教養と共に愛や喜びを手に入れた彼だったが、同時に憎しみや孤独も知る事になり…。世代を超えて読み継がれる名作。



光にむかって

サーロー節子ノーベル平和賞のスピーチ

(サーロー節子 [述], くさばよしみ 編, やまなかももこ 絵/汐文社)

13歳で被爆し、核兵器をなくす運動を続けてきたサーロー節子さん。核兵器の恐ろしさを訴えたスピーチが絵本に。

女神のサラダ

(瀧羽麻子 著/光文社)

全国各地で農業に携わる女性を主人公にした短編集。トマト農家で働く夏実の淡い初恋の行方を描いた「トマトの約束」は、小松市が舞台になっている。



神さまの貨物

(ジャン・クロード・グランバル 著, 河野万里子 訳/ポプラ社)

暗い森に住む貧しい木こりの夫婦は、列車の窓から投げられた赤ちゃんを助ける。戦時下の厳しい状況の中で、託された命を守るには一。

毎月23日は

「こまつ市民読書の日」
「いしかわ学校読書の日」



このリストに掲載されている本は、小松市立図書館、南部図書館、小松市内の各中学校の図書館で借りることができます。ご利用ください。

◆小松市立図書館

〒923-0903
小松市丸の内公園町 19
電話(0761)24-5311

◆南部図書館

〒923-0303
小松市島町又 43
電話(0761)43-1222



かがみの孤城

THE SOLITARY CASTLE IN THE MIRROR

(辻村深月 著/ポプラ社)

学校に居場所がなく、部屋に閉じこもっていたところ。ある日、光る鏡をくぐり抜けてたどり着いた城で、6人の中学生とオオカミの面をかぶった謎の少女に出会って…。

神さまたちの遊ぶ庭

(宮下奈都 著/光文社)

福井県から北海道トムラウシに山村留学した宮下家。一家が魅力いっぱい的大自然と人の温かさに包まれて過ごした一年を綴った、笑って泣けるエッセイ。



令和6年4月

発行: 小松市教育委員会